広報
風車のまわるアジな
せと
2002
平成14年
1
No. 344

新春の風を受け　一斉にスタート

新年恒例の町駅伝大会が1月13日㈰に行なわれ、54チームの参加のもと、午前9時45分に中学生、一般女子、10時には一般男子、地域体協、クラブチームが元気にスタートし健脚を競い合いました。

今年は1月とは思えない好天気で沿道にはたくさんの家族や町民の方々が選手の皆さんに声援を送っていました。

（詳しい内容、レース結果については公民館だより2ページに掲載）

今月の主な内容

年頭のごあいさつ ……… 2～3
シリーズ④市町村合併 ……… 4～5
12月定例議会 ……… 6
みんなの作品 ……… 7
お知らせ ……… 8～9
まちのうごき・アイドル ……… 10

発行／瀬戸町役場 編集／企画課 〒796-0502 愛媛県西宇和郡瀬戸町三机乙3003-6 TEL0894-52-0111 発行日／毎月23日
ホームページ http://www4.ocn.ne.jp/~setotyou/ 電子メール seto1@theia.ocn.ne.jp

年頭のご挨拶

市町村合併元年の年に

瀬戸町長　井上　善一

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は町政の進展にひとかたならぬご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。

振り返りますと、二〇〇一年は年明け早々から国内外で大変な事件や事故が起こった年でもありました。二月の宇和島水産高校の実習船えひめ丸がハワイ沖で米国潜水艦に衝突され沈没、九名もの尊い命が大海に散りました。五月には冒険家河野兵市さんが北極点からの冒険途上、不慮の事故に遭い北極海の冷たい海で還らぬ人となるという悲しい出来事がありました。また、瞬時にして何千人もの人々を犠牲にしたアメリカでの同時多発テロ事件、九月以降年末にかけての「狂牛病」問題等々本当に明るい話題がない中、十二月の皇太子妃雅子様のご出産は国民挙げて祝福すべき明るい話題でした。

さて、本年はどんな年になるのでしょうか。私は市町村合併元年とでも言うべき年になるのではないかと思います。国と地方が大きな借金を抱えた日本経済は、小泉総理の聖域なき構造改革のもと、あらゆる分野で改革や見直しがなされていますが、地方分権型社会の構築と地方自治の再編は、私たち地方自治体にとって最も重要な課題です。

このような状況下、市町村合併問題は今年度、県内あちこちでその論議が加熱し、具体化してくるものと思われます。瀬戸町を含む当地域でも、本年は具体的な協議を進めないとバスに乗り遅れることになります。町の将来と町民生活の有り様を決める大変重要な問題ですので、幅広く皆様のご意見をお伺いしてその方向を選択しなければならない年になると考えています。

本年も皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、素晴らしい年になりますようご多幸を心より祈念致しまして、年頭のご挨拶といたします。

地域、町民のための市町村合併の推進

瀬戸町議会議長　阿部　道忠

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様方には平素より町議会に関しまして格別のご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は、宇和島水産高校の実習船「えひめ丸」の不幸な出来事、また、ニューヨークの世界貿易センタービルへの旅客機による同時多発テロ等大変痛ましい事件、事故が多発した年でありました。

また、昨年は二十一世紀スタートの年として大きく期待された我が国の経済はIT産業の不況に始まり、大手スーパー、ゼネコンの相次ぐ倒産等、景気回復の兆しは一向に見えず、完全失業率は戦後最悪に達しております。

町内におきましても、瀬戸アジ等の不漁、柑橘は豊作の年に当たり摘果や改植などによる減量を図りましたが販売価格は低迷し、また、畜産農家では「狂牛病」問題で消費者の牛肉離れが起こり、価格が暴落するという大変深刻な状況の一年であったと思います。

近年、地方分権、地方の時代と叫ばれるなか市町村合併の動きが急速に進展しており、町民のため、地域のための合併であるよう町、議会が一体となり最善を尽くす決意であります。

今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆様方にとりまして良い年でありますよう、心からお祈り申し上げまして新年のご挨拶といたします。

瀬戸町の豊かな発展を祈念して

関西瀬戸町同郷会
会長　谷本　照夫

明けましておめでとうございます。

瀬戸町の皆様に於かれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと拝察致しております。

昨年は、アメリカで起こった同時多発テロ事件をきっかけとして報復戦争が始まり、多くの国々へ戦争が拡大しようとしております。一日も早く、平和的に戦争が終結することを願ってやみません。

また国内では長びく不況のなか、日本経済はますます先が見えない状況となっており、まことに厳しい年明けとなりました。

そんななかで関西瀬戸町同郷会は昨年十一月、一四〇人の参加で四回目の活気ある交流会を開催することができました。

これからも心をひとつにして、関西へ出ておられる瀬戸町出身者の拠点としての役割が果たせられますよう、邁進していきたいと思っております。

新年にあたりまして瀬戸町が益々発展していきますよう、また町民の皆様が健康で心豊かな日々を送れますように、関西の地より祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。

関東同郷会の輪を広げましょう

関東瀬戸町同郷会
会長　清水　利文

新春のお慶びを申し上げます。

毎回の関東地区の瀬戸町同郷会には町長始め職員の皆様の参賀をいただき、誠にありがとうございます。御礼申し上げます。

昨年平成十三年十月、於新宿区で第二十二回の関東同郷会が開催され、その席上で佐藤保前会長の後任に参賀者会員の多数の賛同を受け会長職を受諾致しました。

無能な私ではありますが、努力し頑張ります。

昨今では会員の中にも故人になられた方、又高齢で参賀するにも無理な方も多くなり今こそ世代交代の時期だと思います。若い方の参賀をお願い申し上げます。

関東地区在住の皆様ご連絡下さい。御案内致します。

〒145―0067
東京都大田区雪谷大塚町
十三―七
☎03―3726―0950

シリーズ①　“キラリ”輝いてるね！

富永ファミリー（大江）

レース後の爽やかな笑顔。
後列左から正司さん、竜司君。前列左から母冨美子さん、大樹君、千賀ちゃん、将斗君。

一月十三日(日)に行なわれた町駅伝大会に家族揃って出場した富永正司さん（四十三歳）一家が会場で話題を集めました。

レース当日、走り終えたばかりの御一家に感想や今回大会に出場するに至った動機などを聞いてみました。

「長男（竜司・中三）、二男（将斗・小六）が今春それぞれ中学校と小学校を卒業する節目の年に当たり、何か記念にと考え思いついた」と語る父親の正司さん。冬休みから家族揃って本格的に練習したそうで「毎日走るのはしんどかった」と長女千賀ちゃん（小四）。小学二年生で参加した頑張りやさんの三男大樹君。「疲れた」という顔も自信に満ちて誇らしげでした。両親の願い通り家族全員が一つのことを成し遂げるすばらしさ、充実感を肌で感じ、一家の絆も益々深まったことでしょう。

皆さんも来年は参加されてみてはいかがですか。

町広報では町内の趣味を活かしてすてきな生活をされている方、すばらしい特技の持ち主、生き生き輝いている人などを探し、紹介していきたいと考えています。自薦、他薦は問いません。情報をお持ちの方は是非お知らせ下さい。

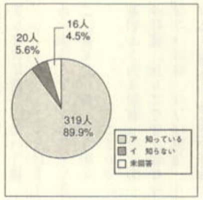
連絡先　役場企画課
広報係　☎五二―〇一一一

シリーズ④　どうなる？市町村合併

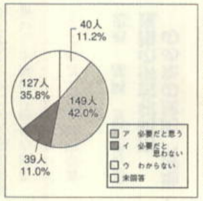
平成十三年に合併に関するアンケートを二回実施しました。調査結果をお知らせいたします。

I　調査期間
平成13年9月10日～9月16日
○　調査対象数　409人
（町内成人を対象に無作為抽出による）
○　回収数　355人
○　回収率　86・8％

設問1　あなたは市町村合併について知っていますか。



設問2　設問1で知っていると回答された方におたずねします。あなたは市町村合併についてどのようなお考えですか？



【アと回答した人の主な理由】
- 町の財源が厳しいため
- 小さな町で生き残れるのであれば一番ベストであるが、今の時代合併をしなければ町として存続でないと考える
- 交付税が少なくなるので、行政の住民サービスが悪くなる
- 急速に進む少子高齢化により、現在の市町村単位では必要なサービスの提供が困難ではないか
- 本町は財源となる企業もないため、好むと好まざるに係わらず合併は避けては通れない状況である
- 止まっていては風は吹かないし、だからこそ行動する。それこそが前向きな考え方だと思う
- 農協と同じように八幡浜市・西宇和郡で合併したらよい
- 無駄な公共事業の乱発、公務員及び議員の削減を図ることができる
- 合併して新しい考え方を期待する

【イと回答した人の主な理由】
- 町村合併を行うことにより、きめ細やかなサービスができない。特に、小集落の高齢者に対する行政サービスが低下する恐れがある
- 国、県の方針であり、地域に住む者にとっては、必要性は感じない
- 合併に対して良いイメージがない
- 行政サービスの低下（JAの合併が好例）
- 合併しないと交付税等が削減され、財政面で厳しくなるが、行政に効率を求めるのは少し問題であるのでは
- 過疎化が一層進む
- 行政と住民のつながりがなくなる
- 本町のような弱い地区の切り捨てになる
- 小さな町の良さを生かした生き残り戦略を考えればよい
- 小さな町には小さな町なりの良い所があり、財政的にやっていけるのなら必ずしも必要だとは思わない

設問3　市町村合併に対して何か不安なこと、望むことがあれば自由に記入ください

【不安なこと】
- いろいろな面できめ細やかなサービスが低下する恐れがある
- 自主財源規模及び人口の多い市町中心の政策に偏る
- 合併により組織の合理化が進み、端末部分の行政サービスの切り捨てが行われる危険性がある
- 一層過疎が進む
- 役所が遠くなり、いろいろと手続きで時間がかかる。また、末端の声が届きにくいのでは
- 小さい町ほど行政の投資額が少なくなる
- 瀬戸町の伝統や文化が失われるのではないか
- 税金、公共料金、保険等の値上げ
- 益々商店の空洞化が進み、小売業等が低迷する
- 農業等の経営支援、助成がなくなるのではないか

【望むこと】
- 私たちの住んでいる町を大切に思ってくれる行政でいてほしい
- 住民に対するサービスが低下しないようサービスは最高水準に、負担は最小限となるよう協議していく必要がある
- 住民サービスに対しては、支所（旧町）で全てできるよう対応願いたい
- 合併のメリットを最大限に生かして、佐田岬の地域特性に合わせたビジョンを描

いてほしい。できれば保内以西4町の合併を希望
・合併をして当然という立場でなく、何のために合併するか、どういう効果が期待でき、その反面どういう面がかわっていくのか明らかにして進めてもらいたい
・合併して良かったと思えるような行政の充実
・合併中心の地域だけでなく周辺地域が不便を感じないよう配慮してほしい
・将来を見据えて合併に携わる人たちは、町民の立場を一番に考えてほしい
・町民の意見を充分に聞き、合併するかしないか議論してほしい
・学校の先生方の異動についても合併されると動きがあるのではと期待します（5年異動なしでは進歩がないと心配します）
・合併までに重要施策は無理をしても行う必要がある

Ⅱ　**調査期間**
平成13年10月22日～10月30日
（環境行政懇談会に実施）
○調査対象　全地区
○回答者数　364人

設問1　国は、地方分権をおしすすめる為にも、自治体は、ある程度の人口規模が必要であり、その為には合併が必要だと言っています。あなたは、これについてどう思いますか。

①　国の考えは充分理解できるし、合併についても必要性を感じる。
②　合併が必要だという背景は理解できるが、必ずしも合併が必要とは思わない。
③　合併が必要であるとしても、あくまでも市町村の自主的な意思によるものでなければならないと思う。
④　その他

【回答】
①90人　24・8%
②94人　25・9%
③176人　48・5%
④3人　0・8%

設問2　あなたは、瀬戸町は合併問題にどう取り組むべきだと思いますか。

①　瀬戸町にとって将来性の高い組み合わせの関係市町村に、積極的に働きかけをすべきである。
②　周りの状況を見守りながら慎重に対応すべきである。
③　住民の意向を尊重して対応すべきである。
④　当面、合併問題は考えない方がよい。
⑤　その他

【回答】
①60人　16・0%
②128人　34・2%
③160人　42・8%
④26人　7・0%
⑤0人　0・0%

設問3　合併しないとしたら、瀬戸町は将来(20年後)、現在の行政サービス水準を維持できると思いますか。

①　財源不足で行政運営が厳しくなり、サービス水準が低下し、住民負担が増加する。
②　財源が厳しいが、事務や職員体制を見直せば、現状水準を維持できる。
③　全国的に合併があまり進展しない為、国の政策も大きく変わらず、結果的に現状を維持できる。
④　その他

【回答】
①176人　52・7%
②94人　28・1%
③58人　17・4%
④6人　1・8%

設問4　もし、合併を進めることになれば、どのような形で他市町と協議すべきと思いますか。

①　選挙で選ばれた町長・議員が中心となって協議を進めればよい。
②　住民の代表を加えた協議会組織を中心として進めるべきである。
③　いかなる形であれ、協議結果を町民に報告しながら進めるべきである。
④　その他

【回答】
①47人　12・4%
②130人　34・2%
③201人　52・9%
④2人　0・5%

設問5　市町村合併について、あなたのご意見等をお聞かせ下さい。

・あまり関心がない
・今のところ考えていない
・いやだが、やむなし
・合併後、住民へのサービスが心配
・合併は好ましくないと思うが、大きくなった時に弱者を切り捨てるようなことのないように、地域格差をないようにお願いしたい
・合併は避けられない問題だと思うが、大きくなった時に弱者を切り捨てるようなことのないように、地域格差をないようにお願いしたい
・合併は時代の流れであると思う。子や孫が安心して生活できる地となるよう英知を集めて協議してほしい
・合併をしない方がよい
・行政サービス維持向上のため合併すべきです
・少しでも早期合併を頼みます
・全面的に反対とは言えませんが、よく協議して住民の住みよいようにお願いいたします
・町村合併は避けることのできない問題だから、早く合併についての行動をおこしてほしい
・農協と同じ、あまり良くないと思う

ご協力ありがとうございました。
今後、二月に合併問題地区懇談会の開催を予定していますのでご参加ください。

十二月定例町議会

十二月二十日に開催された定例町議会に、平成十三年度一般会計補正予算案など二十議案が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決されました。また、議会人事があり、議会運営委員会委員長に阿部軍治議員が選任されました。

主な議案の説明

▽十三年度一般会計補正予算
可燃ゴミの広域処理に伴う費用など一億一千二百五十万円を追加補正し、予算総額を二十八億九千三百万円とするもの。主な補正案件は次のとおり。
・広域ゴミ焼却炉改修負担金
一千九百六十万円
・狂牛病緊急対策費
三百三十万円
・水産業共同利用施設整備費
三百二十万円
・大江大成林道舗装追加補正
三百万円
・大久漁港整備費追加補正
五千万円
・川之浜漁港整備費追加補正
二千三百二十万円

▽職員給与条例の一部改正
人事院が調査した民間給与水準と比較し、職員給与の見直しを図るもの。不況による民間給与の低下に伴い、職員給与も引下げを行った。

▽特別職給与条例並びに議会議員報酬等条例の一部改正
特別職給与並びに議会議員報酬等の見直しを行い、職員給与と同様、引下げを行った。

一般質問（要旨）

紙面の都合上、掲載内容は初回質問のみとし、「ですます調」を省きました。

山本吉昭 議員

▽市町村合併について
本県でも少子高齢化の進展や生活圏の拡大、また厳しい財政状況など市町村行政を取り巻く環境は大きく変化しつつあり、これに対応するため市町村合併の推進が緊急課題とされている。
十三年二月に県が策定した「愛媛県市町村合併推進要綱」では、八幡浜・西宇和の一市五町が合併する基本パターンと、半島四町が合併する参考パターンが示された。郡内の議会でも「市町村合併研究検討委員会」を立ち上げ、研究しているが、各町それぞれの思いがあり対応が遅れ気味である。「合併特例法」の期限は十七年三月であるが、合併決定後の事務的な摺り合わせに約二年間必要と言われており、実質的には十五年三月までに結論を出す必要がある。
合併については、最終的に町民が判断する問題であり、町民の合意が何より大切。そこで次の二点について町長の基本姿勢をお伺いしたい。
①合併に関する考え方と今後の見通し。
②合併に関する懇談会等を開き、町民の意見を集約する必要があると思うがどうか。

町長

①私自身はこの二千八百人の小さな町が将来に亘って単独で生き残り、現在のサービス水準を維持し続けることは大変困難と思っている。
国・地方あわせて六百六十六兆円もの借金を抱える現状の中で、今までどおり地方交付税や国・県の補助金が確保される事は大変厳しいと言わざるを得ず、現にここ数年、毎年のように地方交付税が減額されている。このような状況を思慮し、町の将来を展望するとき、この機会に積極的に合併を進めることが結果的には町民に対する行政サービスを維持していくことになるのではと考えている。また、その枠組みは「顔の見える範囲、ぬくもりが伝わる範囲」が適当と考えているが、今後、関係市町村の動向を見極めながら判断して参りたい。
今後の見通しについては、一般的に「合併に関する法定協議会」を設立した後、具体的な協議期間が二年程度必要と言われており、作業スケジュールを考えると、どのような枠組みで合併するかについてできるだけ早い機会に結論を出す時期に来ていると思っている。
②懇談会開催の必要性については全く同感。合併により、私達の生活がどう変わるのか、またどんなメリットが考えられるのかなど、広く情報を提供し、町民の皆さんが適切に判断できるよう十分説明することが最も重要である。各地区に出向いて懇談会等を行い、町民の皆様の意見を集約したいと考えている。

戸籍の窓

平成13年12月分

お誕生おめでとう

本　籍　　出生児氏名　　性別　筆頭者名

ご結婚おめでとうございます

本　籍　　婚姻者氏名　　筆頭者名

おくやみ申し上げます

本　籍　　死亡者氏名　　年齢

平成13年12月末現在		
●人　口	2,734人	(－ 3)
男	1,279人	(－ 4)
女	1,455人	(＋ 2)
●世帯数	1,146戸	(－ 4)

(　) 内は先月との比較

※広報に掲載不要な方は、届出時に申し出て下さい。

わが家の愛ドル

(大　江)　米　田　慎一郎
　　　　　　　　　小百合　さんの子

猫に変身！

ツリーの前で歌を歌う仲良し兄弟

米田（よねだ）　和磨（かずま）くん
(平成11年10月12日生まれ)

一見おとなしそうに見えますが、兄弟げんかとなればお兄ちゃんとお姉ちゃんをやっつけるくらいたくましい所もあります。兄弟仲良く元気で育ってほしいです。

―父・母より―

ゆうちゃんだより

○新年明けましておめでとうございます。

二〇〇二年もお客様第一で地域と密着した郵便局を目指し、頑張りたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

瀬戸郵便局・大久郵便局

○募集中です！

四国郵政局では、好評の「四国ゆうパックの会」の会員を募集しております。

毎月々、新鮮な旬の味をあなたのお宅へお届けします。

また一つ楽しみが増えますよ。

申込期限がありますので、詳しいことは瀬戸郵便局、大久郵便局までお尋ね下さい。

消防第一分署だより

第一分署に高規格救急車が配備されました

昨年12月17日より、消防署第一分署に高規格救急車が配備されました。管内では本署につづき、2台目の配備となります。呼吸停止・心肺停止と気道異物等の重症患者及び集団災害が発生した場合は、第一分署救急隊の応援に、本署高規格救急隊が出動していましたが、これからは2名の救急救命士等が、配備された高規格救急車を運用しますので、これまで以上に救命率向上に役立つことと期待されます。

三崎高校だより

マラソン大会

去る十二月二十日(木)に、全校生徒によるマラソン大会を開催しました。学校から大佐田方面に向けて、男子7・7km、女子4・7kmで自己の体力に挑戦し、強い精神力と忍耐力を競い合いました。

幸い良い天候にも恵まれ、長距離が得意な生徒も苦手な生徒もそれぞれが、精一杯、自己の限界に挑戦し、力走を見せました。教員も参加し、生徒に負けまいとひたすら走っていた姿に、また、痛い足を押してレースに参加し、最後には足を引きずりながらも完走した姿を見て、生徒も良い刺激を受けたことと思います。

このマラソン大会を通して、生徒一人一人が自分自身と闘い、それぞれの心の中に何かを刻み、一歩前進できたのではないかと思います。

高校入試のシーズンがやって参りました。入試の日程を紹介させていただきます。

推薦入試

2月7日(木)
作文及び面接を実施
3月19日(火)合格発表

一般入試

3月12日(火)・13日(水)
国語・作文・理科・社会・数学・英語及び面接を実施
3月19日(火)合格発表

最後になりましたが、新年あけましておめでとうございます。本校も魅力ある学校、また、地域に開かれた学校づくりを目指して、現在学校改革を進めているところです。町民の皆様の忌たんのないご意見を聞かせていただければ幸いに存じます。今年も変わらないご指導・ご協力をお願い申し上げます。

ホームページを開設しました。どうぞご覧ください。
http://ehm-misaki-h.esnet.ed.jp

みんなの作品

大久小学校一年生
坂本　ちあき　さん

大すきな、給食の時間をみんなにみてもらいたいので、かきました。ブラウスの色をつくるのをがんばりました。

作品名　「大すきな給食の時間」

三机小学校三年生
竹林　和樹　くん

作品名　「のこをひく友だち」

クロッキーの時間にのこをひくともだちをかきました。体をまげているところや、のこをもっている手がむずかしかったです。